

【授業科目】統計学 Statistics

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
工藤 安史	1年次前期	選択	2	30	講義	なし	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対する フィードバック方法	授業概要／統計に関連する様々なテーマについて学ばせ、統計学に関連する教養を身につけさせる。 課題に対するフィードバック方法／授業中の確認テストおよびレポート課題、さらに学年末試験などに対して、講義中および掲示板を通して、学習方法について助言する。							
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①エビデンスに基づく質の高い医療サービスを患者に提供できるようになる。 ②統計処理を行っている文献を読み、文献の内容を理解することができる。 ③卒業論文を含め、自分の興味のある研究テーマに取り組み始めるようになる。							
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	第1回から第15回の事前学習：講義レジメを配布しますので、レジメを予め読んで来て下さい。また、教科書で該当する箇所を読んできて下さい(目安となる事前学習の時間は、1回あたり2時間です)。 第1回から第15回の事後学習：講義で指導した内容を踏まえ、レジメプリントおよび教科書を中心に復習して下さい(目安となる事後学習の時間も1回あたり2時間です)。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回から第4回 統計資料の読み方 人口動態統計、人口動態統計、国民生活基礎調査、患者調査などの統計資料の読み方について学ぶ。 第5回から第8回 疾病頻度の指標について 罹患率と有病率、死亡率と年齢調整死亡率、致死率などについて学ぶ。 第9回から第11回 スクリーニングの指標 感度、特異度、偽陽性、偽陰性、陽性反応的中度、陰性反応的中度などについて学ぶ。 第12回から第14回 データのまとめ方 度数分布表、グラフの種類、平均値と中央値、分散と標準偏差、四分位範囲などについて学ぶ。 第15回 まとめ この講義のまとめを行う。							全て 工藤
評価方法 評価基準	レポート100%で評価する。							
教科書	国民衛生の動向(2023/2024年版) 厚生労働統計協会			参考書等	適時紹介する。			
学生への メッセージ	この授業では、統計資料の読み方なども含め、統計学に関連する様々な内容について指導する。仮説検定などは、後期の保健医療統計学で指導する。							